

第58回「しんぶん赤旗」囲碁・将棋大会 京都府大会実施要項（決定）

本大会は、日本の伝統文化である囲碁・将棋の普及・発展に寄与するという日本共産党の政策にもとづいて開かれます。アマチュアの初級者には楽しい大会参加の機会を、強豪にはレベルの高い腕試しの機会を提供する目的を兼ね備えています。また、本大会は日本棋院、関西棋院、日本将棋連盟の後援のもと、囲碁、将棋の愛好家、専門家などの協力を得て開かれます。

新型コロナウイルス感染拡大のため、全国大会は2020年と2021年の開催を中止し、2022年は3年ぶりに開催しましたが、感染対策のため地区大会を開催せず、都道府県大会も、全国大会への代表を決めることを主眼としました。

今年は、必要な新型コロナウイルス感染対策は引き続き行いつつ、“初心者から強豪まで、だれでも参加できます”という、しんぶん赤旗囲碁・将棋大会の魅力と特徴が生かされるよう、基本的に、2019年以前と同じ形での開催にします。

一、全国大会および京都府大会の日程と会場について

- ① 全国大会の日程 —11月12日（土）、13日（日）の二日間（東京都渋谷区「日本共産党本部」）
- ② 京都府大会の日程 —10月8日（日）開会・午前10時、受付・9時30分（京都市左京区「京都教育文化センター」）

二、留意事項 — 「第58回「しんぶん赤旗」全国囲碁・将棋大会」（参考資料）をふまえて

- (一) 大会成功のために、地区委員会は責任者を決めてください。後援会、囲碁、将棋の愛好家、大きな職場や団体などの同好会世話人などに働きかけ、協力者を募って実行委員会をつくることが、大会を成功させるカギです。実行委員会は、大会の企画や実務を大衆的で親しみやすいものにするよう心がけてください。また、本大会は、日本棋院、関西棋院、日本将棋連盟の後援を受けています。各地区にある棋院支部に積極的に協力をお願いするようにしてください。
- (二) 府大会および地区大会の宣伝は、中央作成ポスターの活用、地域の独自宣伝、ビラの作成と「しんぶん赤旗」日曜版への折り込みなど、工夫しておこなってください。地域の碁会所や将棋センターに大会の案内をする場合、ビラに「しんぶん赤旗」や「京都民報」など発行物の広告、および赤旗出張所の所在地と電話番号などを入れるようにしてください。

- (三) 地区大会は、9月30日(土)までに開催することを基本に準備してください。地区大会の日時と場所(会場)は、遅くとも7月31日(月)までに決定して、府実行委員会に連絡して下さい。前年度までの参加者にハガキなどで案内するとともに、囲碁、将棋の地域支部、職場や学校の同好会やサークルに訪問などして案内してください。地区大会の結果は、府実行委員会に急ぎ報告してください。
- (四) 参加資格は、府、地区大会とも「京都府内に在住・在学・勤務の方」とします。運営費用は、赤字にならないよう広い層へ案内、宣伝を行い、参加者を飛躍的に増やすことが大事です。ビラに広告を出してもらうなど工夫してください。
- (五) 大会は「会場内禁煙」とします。
- (六) 「しんぶん赤旗」と「京都民報」の宣伝および読者拡大に取り組んでください。大会参加の呼びかけ、地域の囲碁・将棋クラブなど、団体への申し入れは、「赤旗」、「京都民報」の宣伝紙を活用し囲碁、将棋の普及と発展に寄与している「しんぶん赤旗」、大会を後援している「京都民報」の役割を語って、「読んでいただけませんか」と気軽にお勧めすることが大事です。会場内で参加者に宣伝紙と購読申込書を配り、主催者あいさつで「しんぶん赤旗」の役割にふれてもらい購読のお願いをしましょう。

三、地区大会について

- ◆地区大会を、「定員を設定し、事前申込制とする(先着順、もしくは抽選とする)か、「当日受付制」にするかは、各地区実行委員会の判断にゆだねます。ただし、「当日受付制」とする場合は、これまでの実績などをよくふまえるとともに、例えば従来の2倍など、かなり多くの参加者が来ても十分対応できる広さの会場を確保するようにしてください(会場内が「密」になるのを避けるため)。新型コロナウイルス感染対策ガイドライン(2023年3月改定版)を参考にしてください。

(一) 赤旗名人戦(A級戦)

- 地区大会名人戦は、4段以上の有段者と希望者によって行う。
- 名人戦優勝者、準優勝者、3位入賞者に賞状を授与する。優勝者に允許状を授与できる。副賞は地区で考慮する。
- 大会参加者は、「京都府内に在住・在学・勤務の方」とします。
- ひとつの地区委員会だけでは開催が困難なところは、近隣の地区委員会同士の共同開催を認めることにします。

- 地区大会優勝者、準優勝者は、府大会に出場する。
- 近隣地区との合同大会に限り、1種目で11人を超える場合は3位入賞者も府大会に出場できることとする。

(二) 囲碁 B 級戦 (ハンデ戦)、将棋 B 級戦

- 地区大会 B 級戦はハンデ戦とし、名人戦に参加しない有段者も対戦できるようにする。B 級戦の区分けとハンデは、各実行委員会で決める（中央実行委員会発行「開催のしおり」を参考にしてください）。
- B 級優勝者、準優勝者、3 位入賞者に賞状を授与。副賞は地区で考慮する。
- 地区大会優勝者、準優勝者は、府大会に出場する。

四、府大会について

(一) 赤旗名人戦 (A 級戦)

- 囲碁、将棋とも、府大会名人戦の参加者は、地区大会勝ち抜き 2 名 (3 名)、府大会前年度優勝者(前回全国大会優勝者は除く)、府大会への直接参加者で行う。直接参加については、原則として事前申し込み制とする。申し込みは、9 月 30 日 (土) までに府大会実行委員会に申請してもらうように地区大会・府大会日程とともに周知していく。
- 府大会への直接参加の事前申し込みは、電話では受け付けず、メールでの申し込みとする。
- 名人戦の優勝者には、京都府大会第 58 回赤旗名人の賞状、副賞を授与する。準優勝者には、賞状、副賞を授与する。3 位入賞者には、賞状を授与する。
- 優勝者(もしくは、上位者 1 名)を全国大会の選手とする。

(二) B 級戦 (ハンデ戦)

- 囲碁・将棋とも府大会 B 級戦の参加者は、各地区大会の勝ち抜き者 2 名 (3 名) および府大会前年度優勝者によっておこなう。
- 優勝者、準優勝者に賞状、副賞を授与、3 位入賞者に賞状を授与する。
- B 級戦で優勝した人は、翌年は、将棋については、名人戦に上がってもらう。囲碁は 1 級上がってもらう。

五、参加費、交通費について

- (一) 地区大会の参加費は、1000 円～1500 円を目安に実情に合わせて地区が決める。
- (二) 地区大会参加者一名につき 200 円を府大会の一部費用として上納する。ただし、中学生以下の参加者の分については一名につき 100 円とする。
- (三) 府大会名人戦への直接参加者 2000 円、女性および中学生以下 1000 円とする。
- (四) 府大会の交通費
 - 京都市内以外の地区大会の勝ち抜き者は、開催地区から京都市までの公共交通機関、実費運賃を京都府大会実行委員会が負担する。
 - 名人戦直接参加者の交通費は、参加者負担とする。
- (五) 全国大会京都府代表の交通費と宿泊費は、中央実行委員会が負担する。

六、対戦方法について

- (一) 地区大会はリーグ戦方式、またはトーナメント方式、またはスイス方式に準じて行うなど、競技時間も審判長が決める。
- (二) 府大会は、基本的にスイス方式に準じて行う。名人戦は、囲碁・将棋とも対局時計を使用する。しかし、当日の参加人数により競技時間・方法を変更する場合があります。
- (三) 囲碁 B 級戦以下のハンデは、「段・級差 1 目」(9 子まで) とし、「先番半目コミ出し」とする。互先の場合は、すべて「先番 6 目半コミ出し」とする。

七、段級位認定および記念品・参加賞の斡旋について

- 中央実行委員会発行の「大会開催のしおり」を参照してください。

八、その他

- 日本棋院、関西棋院、日本将棋連盟の後援を受けており、大会開催の案内とともに協力の呼びかけを行う。
- 府大会、地区大会の開催要項を各団体の有力者へ案内する(地方議員、後援会代表世話人、弁護士、民医連、民商や、府職、市職などの労組、大学のクラブ・同好会など)。
- 予算は、広告などを重視して、赤字にならない努力をする。
- 府大会は、参加賞(ボールペン)を準備する。
- 府大会の要員は、府勤務員、京都市内地区、それぞれ若干名で行う。 以上